

社会事業史学会 編集・発行（年1回）／不二出版 発売

社会事業史研究

バックナンバーのご案内

第1号（創刊号）～第30号（1973年～2002年）



- 社会事業史研究会の最も大きな仕事は『社会事業史研究』の発刊である。
- 他の分野に比し、社会事業研究では歴史に大きな役割を求められているのは、余り歴史研究と関係がない人の著作の中にも、歴史が多くとりあげられていることでも明瞭である。（中略）にもかかわらず、社会事業史研究は理論的にも資料的にも隙間だらけで、その要求をみたしているとはいえない。この雑誌の編集方針は、社会事業史の概説や個別的論文より、従来の研究の再検討と共に、いわばそのような欠如を埋めることに当てられている。
- われわれは、政治史や経済史や思想史のみを歴史の本流としてきた史観に対して、これら国民生活における諸体験を積みあげることによって、新しい歴史観の創造をしたいと思う。しかし、社会事業の史資料の発掘保存整理が余りすすんでいないために社会事業研究では、常に第1ページからくり返しはじめなければならないので研究が生産的になりにくい。その土台作りが本誌の使命。
- われわれは地味な作業を通じて、社会事業研究の民主的前進を内から努めたい。

「創刊のことば」吉田 久一（社会事業史研究 第1号）より抜粋

「社会事業史研究」第1号～第30号 目次

第1号 (1973年10月) 2,500円

創刊のことば
研究史 戦後日本におけるイギリス救貧法研究
処遇史特集 C・ブース「老令者貧困調査」についての研究ノート(1)
発掘資料 東京養育院百年史研究序説
文献解題 岡山孤児院における経営と処遇
東京育成園戦時疎開園分園多西学園の記録
アメリカにおけるグループワーク主要文献解題

第2号 (1974年10月) 2,500円

特集に寄せて 施設史研究の意味と課題
研究史 イギリス公的扶助の発展 -救貧から保障へ-
施設史特集 滝野川学園の歴史 -「精神薄弱者施設」史研究序説
家庭学校史研究ノート -巢鴨家庭学校を中心に-
大阪市立北市民館53年のあゆみ
施設史文献目録
発掘資料 戸越保育所が集団疎開する前後の資料
文献解題 アメリカにおけるケースワークの発達 -1960年代を中心に-

第3号 (1975年10月) 2,000円

特集によせて 地方史研究の思想
研究史 社会事業の方法と研究 -現代を中心に-
地方史特集 北海道社会事業史考
東北社会事業史研究の動向
大阪市「社会部報告」とその周辺
各県(地域)別社会事業史文献目録
発掘資料 社会局社会部 農漁山村ニ於ケル生活困窮状況
文献研究 アメリカにおける最近のコミュニティ・オーガニゼーションの動向について(1)

第4号 (1976年10月) 2,000円

特集によせて 「第2次大戦下の社会事業」の社会事業史的意義
研究史 イギリスにおけるSocial Administration研究の研究序論
特集 第2次大戦下の社会事業
戦時下方面委員活動の性格と特徴
ナチズム下の公的扶助
第2次大戦下のアメリカ社会福祉事業
発掘資料 社会局社会部 農漁山村ニ於ケル生活困窮状況
文献研究 アメリカにおける最近のコミュニティ・オーガニゼーションの動向(2)

第5号 (1977年10月) 2,000円

序 特集によせて
研究史 日本生活研究小史
特集 医療社会事業
アメリカにおける医療社会事業
医療史の諸問題
我が国における医療社会事業の発展史
福島県における公的救済の実態史研究の試み
留岡幸助主筆「人道」について
イギリスにおける社会事業調査研究の最近の動向

第6号 (1978年10月) 2,000円

巻頭言 福祉労働論への設問
研究史 イギリス社会福祉行政研究史(その1)
特集 アメリカにおける社会事業従事者とその教育の歴史
私のみた戦争と保育事業
養護施設従事者の歴史
東京感化院・錦華学院の制度、処遇に関する基礎資料
米国におけるソーシャル・アクション

第7号 (1979年10月) 2,000円

巻頭言 貧困 -社会事業対象史からの接近
研究史 1834年救貧法改正法について
特集 明治期に於る大阪貧民史之研究
日本の貧困問題研究 -「産業革命」期を中心として
イギリス産業革命期における貧困問題
発掘資料 占領期の社会福祉行政に関するGHQ公文書リスト
文献研究 「イギリスのソーシャル・アドミニストレーション」

第8号 (1980年10月) 2,300円

巻頭言 社会事業史における「女性史」
研究史 ニューディール救済政策の展開 -現代資本主義と社会福祉政策
特集 昭和恐慌期における東北農村と娘の身売り -秋田県を中心に
山田わか -人と歩み
戦後母子寮史 -利用者を中心として
文献研究 買春問題に関する調査 -戦前
発掘資料 大正8~10年段階の児童保護立法構想に関する資料

第9号 (1981年10月) 2,300円

巻頭言 両大戦間期の社会事業
特集 独占資本主義確立期の貧困
戦間期日本における「農村社会事業」
1929年恐慌にかんするガルブレイスの見解について
発掘資料 「昭和23年 第1回被保護者生活状況調査」
文献研究 アメリカ知能障害者教育・福祉史料・文献目録

第10号 (1982年10月) 3,000円

巻頭言 地域福祉研究の視点
特集 地域福祉研究
共同体からコミュニティへ
英国におけるコミュニティ・ケアの歴史
明治地方自治制度の成立と救済行政(研究ノート)
戦後地域福祉研究の概観(上) -社協・CO論から地域福祉論へ
発掘資料 施設福祉財政史資 -主として助成金関係を中心として-
文献研究 リチャード・ティトマスの文献研究ノート

第11号 (1983年9月) 3,000円

巻頭言 絶対主義期救済制度と社会事業史
特集 絶対主義下の救済制度
イギリス絶対主義下の救済制度 -社会政策史の再構成のために
明治絶対主義と天皇制的慈恵について
千葉県における明治初年の育児制度
日本における障害者問題史研究の現状と課題
-身体障害者問題を中心に-
発掘資料 要救護者数調査概要(昭和6年)
文献研究 ドイツ児童福祉の文献研究

第12号 (1984年10月) 3,000円

巻頭言 人物史について
特集 留岡幸助研究
家庭学校史に見る留岡幸助の実践内容
-社名淵分校創設期の場合を中心に-
留岡幸助と『基督教新聞』
B.S. Rowntreeの「Human Needs」水準概念の検討
留岡幸助宛書簡 -金原明善とのかかわりを中心として-
要救護者数調査概要(昭和6年) -後半分-
C.O.S.史研究に関する資料文献紹介
自由投稿 増田抱村『児童社会史』について

第13号 (1985年9月) 3,000円

巻頭言 感化救済事業をめぐって

研究史	フランスの社会保障制度と相互扶助組合 -19世紀初頭のストラスブールにおける相互扶助組合- 松村 祥子 Service social の歴史的推移に関する文献研究 高倉 節子
特集 感化救済事業と地方改良	明治期における貧困認識の発生と転回 -「貧民踏査」の記述を中心として- 中川 清 明治期における報徳運動について その脈絡を中心として 高林 孝志
発掘資料	三浦梅園著『慈悲無盡興業旨趣並約束』・『丙午封事』・ 『仙原』、附三枝博音著『言語』の著者に対して語る (『三浦梅園の哲学』収)。 吉田 久一 キリシタン時代における社会事業文献研究序論 矢島 浩
文献研究 自由投稿	『社会事業史料集成』の収録史料について -『集成』の編纂作業にたずさわって- 寺脇 隆夫
第14号(1986年11月) 3,000円	
巻頭言	老人福祉史について 吉田 久一
研究史	戦前期養老事業文献にみる養老院に関する処遇と処遇観 小笠原祐次
特集 老人福祉の歴史	大阪養老院の設立について 山本啓太郎 老人福祉法の制定過程 橋本 宏子 スウェーデン老人ホーム史素描 -試論として- 一番ヶ瀬康子 イギリス老人福祉におけるホームヘルプ 田端 光美 長谷川良信と社会事業教育 川瀬 善美 戦前福島市の公的救済財政の実態史的研究 菊池 義昭
自由投稿	
第15号(1987年10月) 3,000円	
巻頭言	比較史研究の意義と方法 一番ヶ瀬康子
研究史	戦後日本におけるイギリス救貧法研究(2) 高島 進
特集 比較救済制度史	日本福祉思想の発生と古代律令救済制度(1) 吉田 久一 明治国家における救貧行政の特質 池田 敬正 占領期対日福祉政策と緊急連邦救済法 古川 孝順 イギリス1834年救貧法 -"right to relief"を中心として- 大沢 真理 遺稿 平安朝に於ける仏教社会事業(一) 谷山 惠林 解説 吉田 久一
発掘資料	遺稿 『イギリス近代社会事業の形成過程 -ロンドン慈善組織協会の活動を中心として-』を補う 高野 史郎 解説 吉田 久一
第16号(1988年10月) 3,000円	
巻頭言	“方法”としての歴史 -比較ということ- 小倉 襄二
特集 社会事業(福祉)理論史	ドイツ社会事業理論の文献史的研究 -A. Salomon の社会事業理論を中心として- 岡田英己子 メリー・リッチモンドの思想と生涯 -近代社会事業の開拓者が綴る試煉の途- 小松 源助 二宮尊徳の実践的福祉思想 吉田 久一 戦後日本における社会福祉理論の展開 -「政策論」を中心に- 宮田 和明
報告	1970年以降の社会福祉政策の展開 仲村 優一
発掘資料	遺稿 平安朝に於ける仏教社会事業(二) 谷山 惠林 解説 吉田 久一 史料紹介「感恩講慣例義解」 池田 敬正
第17号(1989年11月) 3,000円	
巻頭言	障害者福祉史について -障害者教育史からの接近- 加藤 康昭
特集 障害者福祉史	明治初期恤救体制出発期の障害福祉 -救助ケースの検討を中心に 山田 明 ロンドンC. O. S. の活動と障害者福祉 -障害児・者に関する3つの特別委員会報告書を中心として 山口 洋史 日米の精神薄弱者福祉史研究に関する比較研究 津曲 裕次 セガン研究ノート(1) -石井亮一とセガン思想- 松矢 勝宏

報告	日本精神医学ソーシャル・ワーカー協会(P S W協会)25年の歩み -歩みに加わった一員の目をとおして- 坪上 宏
発掘資料	遺稿 平安朝に於ける仏教社会事業(三) 谷山 惠林 解説 吉田 久一
第18号(1990年10月) 3,000円	
巻頭言	戦後社会事業について 重田 信一
特集 戦後社会事業	日本における戦後社会事業について -占領期、地方軍政(民事)部の福祉活動に関するGHQ/SCAP記録文書にみる- 田中 壽 戦後フランスの社会福祉事業 松村 祥子 戦後アメリカの社会保障 星野 信也 スウェーデンにおける戦後の高齢者福祉の展開について 外山 義 遺稿 平安朝に於ける仏教社会事業(四) 谷山 惠林 解説 吉田 久一
自由投稿	福島県聖徳学校史の研究 -研究の視点と同校の概要- 菊池 義昭
第19号(1991年10月) 3,000円	
巻頭言	社会福祉と教育 吉田 久一
特集 児童福祉施設史の研究	昭和前半期保育施設史研究の一視点 矢野 健夫 東京孤児院の歴史 丹野喜久子 家庭学校創設期における支援者群の性格と役割 -『寄付者名簿』の分析を通して- 土井 洋一 20世紀初頭アメリカ合衆国における公立学校センター論と特殊学級の確立 中村満紀男 フランス革命下の救貧資料 -授産事業を中心として- 林 信明
発掘資料	遺稿 平安朝に於ける仏教社会事業(五) 谷山 惠林 解説 吉田 久一
自由投稿	わが国における治療教育学説史の動向 -杉田直樹の資料文献の整理を通して- 小川 英彦
第20号(1992年10月) 3,000円	
巻頭言	回顧20年 吉田 久一
論文	仏教と福祉ボランティア 吉田 久一 戦後日本におけるイギリス救貧法研究(3) 高島 進 日本における公共救済の源流 -町方施行と町会所救済- 池田 敬正 韓半島に於ける古代王者の機能と救済(福祉)との関係 洪 金子
報告	スウェーデン社会における介護福祉史に関する一考察 -ホームヘルプサービスに限定して- 一番ヶ瀬康子 解説 吉田 久一
自由投稿	民衆自身による救貧思想について 三谷 謙一
第21号(1993年9月) 3,000円	
巻頭言	人物史研究の課題 長谷川匡俊
特別報告	石井亮一・筆子夫妻の生涯と思想 -「いと小さき者」として「いと小さき者」と共に「いと小さき者」の為に- 河尾 豊司
研究史	戦後わが国における貧困研究 -とくに高度経済成長期を中心に 岩田 正美
特集 社会事業成立期の人物像	J. アダムスと日本 -先行研究の検討と来日(1923.6.14-8.28)の足跡をめぐって 木原 活信 1930、1940年代のA. ザロモンの社会事業活動 -流浪の民として 岡田英己子 渡辺海旭の社会事業思想と実践 安藤 和彦 福田徳三における公共救済論 池田 敬正 1920年代初頭における内務官僚の社会事業論研究のための覚書(1) -〈田子一民・社会事業論〉研究ノート- 笛木 俊一
史料紹介	大阪養老院収容人名簿 園山 敦子 池田 敬正
第22号(1994年10月) 3,000円	
巻頭言	障害者福祉の歴史の意味 一番ヶ瀬康子
特別報告	大塩平八郎論 -蜂起に隠されていた新事実について- 青木美智男
特集論文 障害者福祉史	

	アメリカ聾啞史にみる障害児観 -手話と口話をめぐって-	上野 益雄
	スウェーデンにおけるノーマライゼーション理論の法的具体化と課題	
	-知的しょうがい者旧・新援護法及び新法LSSを手がかりに-	河東田 博
	障害をもつアメリカ人法(ADA)の歴史と現状	
	-障害者の機会平等法制のめざすもの-	定藤 丈弘
研究論文	1920年代初頭における内務官僚の社会事業論研究のための覚書(2)	
	-〈田子一民・社会事業論〉研究ノート-	笛木 俊一
自由投稿	埼玉県における明治初期の貧民問題と貧民救助	山田 明
第23号(1995年10月) 3,000円		
巻頭言	公私関係研究の意義と課題	右田紀久恵
特集論文	社会福祉における公私関係の歴史	
	シーボーム改革後のイギリスの公私関係	木戸 利秋
	アメリカ社会福祉における公民関係の展開とその教訓	
	-19世紀の末から20世紀の初頭を素材として-	古川 孝順
	フランスにおけるアンシャン・レジーム期の私的慈善と公的救済	林 信明
	わが国の公私関係の沿革と問題点	星野 信也
特別報告	柳田国男と現代	川田 稔
史料解題	昭和3~4年段階の救護法立案過程の史料	
	-社会局保護課「公救護法適用」および各種の「救護法案」-	寺脇 隆夫
第24号(1996年12月) 3,000円		
巻頭言	厚生事業論をめぐって	池田 敬正
特別報告	私の体験から見た戦後社会福祉改革	仲村 優一
特集論文	戦時・戦後改革期の社会事業	
	敗戦とドイツの社会事業	
	-「ゼロの時代」の連続性・非連続性をめぐって-	岡田英己子
	占領期の民生委員と地方軍政部	
	-無差別平等の名譽職裁量体制の運命-	菅沼 隆
	旧植民地・占領地における社会事業の展開(1)	
	-全体像と構造的把握をめぐって-	永岡 正己
投稿論文	日本の盲人の近代的再編成とその特質	
	-1911年内務省「盲者人員及生活状態調査表」を手掛かりとして	加藤 康昭
第25号(1997年10月) 3,000円		
巻頭言	災害と社会福祉	一番ヶ瀬康子
特集論文	東北三県凶作と罹災者救済活動の内容と構造	
	-罹災者救済活動の歴史的役割と影響を中心に-	菊池 義昭
	関東大震災と同潤会の住宅再建について	小川 信子
	昭和恐慌期における東北凶作と社会事業	大友 信勝
	伊勢湾台風災害と社会福祉	高島 進
	阪神大震災と社会福祉	秋山 智久
研究論文	旧植民地・占領地における社会事業の展開(2)	
	-公私と実践の位置をめぐって-	永岡 正己
第26号(1998年10月) 3,000円		
巻頭言	児童福祉史研究に想う	一番ヶ瀬康子
特集論文	児童福祉の歴史	
	明治後半期の児童問題と児童施設 -上毛孤児院を事例として-	宇都 栄子
	児童福祉施設史研究の視点と方法 -先行研究の分類・整理をもとに-	土井 洋一
	戦前児童保護行政における「児童保護事業に関する体系」の位置	
	-社会事業調査会答申の準備関係文書の紹介と検討を通して-	寺脇 隆夫
	占領下沖縄の児童問題と児童福祉法成立過程	丹野喜久子
	戦後児童福祉法における保育所について	
	-とくに60年代から70年代にかけての保育所の思想をめぐって	穴戸 健夫
投稿論文	愛知県における知的障害問題の成立に関する研究	小川 英彦
研究ノート	大正期の岡山孤児院の財政の特色と実績	
	-石井十次の死以後の財政と実践の関係-	菊池 義昭
第27号(1999年10月) 3,000円		
巻頭言	20世紀末の社会福祉	一番ヶ瀬康子
特集論文	20世紀末の社会福祉	
	20世紀末の社会福祉-イギリス-	木戸 利秋

	20世紀末のドイツ社会福祉思想の新潮流	
	-新しい社会(福祉)運動との関連-	岡田英己子
	20世紀末アメリカのソーシャルワーク	窪田 暁子
	日本の20世紀末の社会福祉	
	-社会福祉政策からの視点にみる到達点とその内在的課題をめぐり-	佐藤 進
	20世紀終末期の社会福祉 -社会福祉問題と思想を中心に-	吉田 久一
投稿論文	児童福祉政策の萌芽期とその行方 -『婦女新聞』の母子扶助法制定促進運動と内務省の児童保護政策という二つのフィルターを通して-	今井小の実
	戦時下における松島正儀	杉山 博昭
第28号(2000年10月) 3,000円		
巻頭言	高齢者福祉をめぐって	池田 敬正
特集論文	-高齢者福祉の歴史-	
	1970年代以降の「老人ホーム」の実践とその課題	
	-白十字ホーム利用者と処遇実践の分析を通して	野口 典子
	戦後高齢者福祉制度の展開	小笠原祐次
	内務省調査における「養老院」をめぐる2、3の問題	山本啓太郎
投稿論文	「身の上相談」と母性保護運動 -当事者の「語り」に光りをあてて	今井小の実
	1920年代イギリス労働党支配下地方自治体における救済政策	
	-ポプラリズムとその社会的余波-	伊藤 文人
資料紹介	『永井文庫文献・資料目録』(第1~2巻)	本田 久市
インタビュー	大先輩からの助言(第一回) 浦辺 史先生	聞き手 高島 進 穴戸 健夫 池本美和子
第29号(2001年10月) 3,000円		
巻頭言	宗教活動と社会事業の成立	一番ヶ瀬康子
特集論文	-宗教活動と社会事業の成立-	
	宗教と社会事業を媒介するもの	
	-キリスト教徒による娼妓廃業支援事業を手がかりとして	森岡 清美
	渡辺海旭の社会福祉論	池田 敬正
	仏教者・長谷川良信の社会事業 -その思想と寺院社会事業論-	長谷川匡俊
	山室軍平と救世軍 -その事業と思想-	室田 保夫
	留岡幸助における社会事業の成立 -キリスト教理解と家庭学校の成立-	田中 和男
投稿論文	日本における「慈悲」的福祉思想の展開-仏教的「平等」と福祉-	吉田 久一
	古代キリスト教慈善におけるヘレニズム的ユダヤ教の影響について	
	-「施し(エレモスナー)」の用語の伝播を中心として-	田中 利光
インタビュー	大先輩からの助言(第二回) 重田信一先生	聞き手 高島 進 永田 幹夫 遠藤 興一 西崎 緑 池本美和子
第30号(2002年10月) 3,000円		
巻頭言	公的扶助の日本的形成とは	池田 敬正
特集論文	-公的扶助の日本的形成-	
	おおやけ(公)の救済と公的扶助	
	-現代社会への構造変化と国家の役割をめぐる論議-	池本美和子
	救護法制定過程の研究/立法構想と立法案方針をめぐって	
	-小島幸治「救貧立法構想文書」と社会局「公救護法案摘要」の検討-	寺脇 隆夫
	被占領期の生活保護運動 -日本患者同盟の組織と運動思想を中心に-	菅沼 隆
	生活保護制度の展開と変容	岡部 卓
投稿論文	解放民局 -連邦政府初の直接救済-	西崎 緑
インタビュー	大先輩からの助言(第三回) 小川政亮先生(その一)	聞き手 高島 進 井上 英夫 大山 博 笛木 俊一 矢嶋 里絵 山本 忠

「社会事業史研究」バックナンバー 一覧 (1973年～2002年)

第1号	2,500円・220頁/1973年10月刊	第16号	3,000円・144頁/1988年10月刊
第2号	2,500円・168頁/1974年10月刊	第17号	3,000円・98頁/1989年11月刊
第3号	2,000円・204頁/1975年10月刊	第18号	3,000円・126頁/1990年10月刊
第4号	2,000円・210頁/1976年10月刊	第19号	3,000円・166頁/1991年10月刊
第5号	2,000円・146頁/1977年10月刊	第20号	3,000円・152頁/1992年10月刊
第6号	2,000円・262頁/1978年10月刊	第21号	3,000円・158頁/1993年9月刊
第7号	2,000円・208頁/1979年10月刊	第22号	3,000円・112頁/1994年10月刊
第8号	2,300円・176頁/1980年10月刊	第23号	3,000円・116頁/1995年10月刊
第9号	2,300円・182頁/1981年10月刊	第24号	3,000円・110頁/1996年12月刊
第10号	3,000円・176頁/1982年10月刊	第25号	3,000円・164頁/1997年10月刊
第11号	3,000円・210頁/1983年9月刊	第26号	3,000円・194頁/1998年10月刊
第12号	3,000円・212頁/1984年10月刊	第27号	3,000円・130頁/1999年10月刊
第13号	3,000円・120頁/1985年9月刊	第28号	3,000円・128頁/2000年10月刊
第14号	3,000円・130頁/1986年11月刊	第29号	3,000円・164頁/2001年10月刊
第15号	3,000円・116頁/1987年10月刊	第30号	3,000円・172頁/2002年10月刊

©社会事業史研究会は1998年より社会事業史学会と改称

・全てB5判・並製/以降、年1回の刊行/定期購読受付中!

振替
FAX
TEL
〒113
0023
東京都文京区向丘一丁目二番二

不二出版

価格は税別

社会事業史学会 編集・発行（年1回）／不二出版 発売

社会事業史研究

第 31 号 (最新号)

特集＊旧植民地時代の社会事業史

社会事業史研究＊31号＊目次

【巻頭言】

社会事業研究視点の新たな発点は 佐藤 進

【特集論文】 旧植民地時代の社会事業史

植民地の障害者問題が社会福祉学に問いかけてやまぬもの
—日本近現代障害者問題史研究の反省を通して— 清水 寛

台湾における「社会事業」の展開
—植民地体制下における救貧法制度の成立に関する一考察(1895-1910)— 大友 昌子

植民地韓国における「社会事業」の成立と展開 朴 貞 蘭

「満州国」社会事業の展開 —衛生医療事業を中心に— 沈 潔

日本の植民地統治と「社会事業」—主要な論点をめぐって— 永岡 正己

【投稿論文】

ジョン・デューイとシカゴのソーシャル・セツルメント
—デューイ実験学校とJ.アダムズのハル・ハウスの実践的交差— 千賀愛・高橋智

古代ユダヤ教における貧困者救済制度について
—タルムード・ペアー篇を中心として— 田中 利光

【史料紹介】

「社会事業法」期の神戸養老院 —史料からの論考・分析— 井村 圭壯

【インタビュー】

大先輩からの助言（第三回） 小川政亮先生（その二）
高島 進・井上英夫・大山 博・山本 忠

定価＝本体 3,000 円＋税／2003 年 10 月刊

ISBN4-938303-10-8

不二出版

社会事業史学会 編集・発行（年1回）／不二出版 発売

社会事業史研究

第 32 号(最新号)

特集＊社会福祉学における歴史研究の役割

社会事業史研究＊32号＊目次

【巻頭言】

社会福祉学における歴史研究の役割

高島 進

【特集論文】 社会福祉学における歴史研究の役割

社会福祉学（研究・教育）における歴史研究の役割と課題

一番ヶ瀬 康子

社会福祉研究における理論と歴史の交錯

古川 孝順

社会福祉研究における歴史分析の位置

池田 敬正

実践史の位置と役割 —施設・団体史の先行研究を通して—

土井 洋一

【投稿論文】

社会事業成立期における担い手拡大の論理

—小河滋次郎の社会事業理論を中心に—

中塩 夕幾

【インタビュー】

先輩からの助言（第四回） 吉田久一先生（その一）

司会 宇都榮子

聞き手 岡田英己子・佐々木恒夫・永岡正己

長谷川匡俊・平戸ルリ子

【調査報告】

社会福祉専門教育における歴史関係科目の現状

社会事業史学会第6回大会実行委員会

定価＝本体 3,000 円＋税／2005 年2月刊

ISBN4-8350-5429-6

不二出版

社会事業史学会 編集・発行（年1回）／不二出版 発売

社会事業史研究

第 33 号 (最新号)

特集*史・資料の保存と利用問題
—社会福祉史研究における現状と課題—

社会事業史研究*33号*目次

【巻頭言】

史・資料の保存と利用問題 池田 敬正

【特集論文】 史・資料の保存と利用問題 —社会福祉史研究における現状と課題—

社会福祉史研究における「史資料問題」の現状と課題 寺脇 隆夫

地域社会福祉史研究、岡山孤児院史研究における史資料の役割
—体験的史資料論として— 菊池 義昭

障害者学校・障害者施設関連史資料の収集と課題
—アメリカ合衆国を中心に— 中村満紀男

社会福祉施設所蔵資料の保存と利用 —公文書館との関わりにおいて— 二井 仁美

【投稿論文】

築地・銀座における原胤昭の活動 片岡 優子

ワークハウスにおける死 —高齢者虐待に関する一視点— 晝間 文子

戦後の保育科学・国民保育論と戦後障害児保育の課題
—戦後の愛育研究所「特別保育室」の実践を中心に— 河合 隆平・高橋 智

【第24回社会事業史学会 受賞者の声】

新たなセガン研究への礎石として 清水 寛

(『セガン 知的障害教育・福祉の源流—研究と大学教育の実践—』全4巻)

社会事業史学会文献賞を受賞して 松本 園子

(『昭和戦中期の保育問題研究会—保育者と研究者の共同の軌跡 1936~1943』)

【インタビュー】

先輩からの助言 (第四回) 吉田久一先生 (その二)

司会 宇都菜子

聞き手 岡田英己子・佐々木恒夫・永岡正己

長谷川匡俊・平戸ルリ子

定価=本体 3,000 円+税/2005 年 10 月刊

ISBN4-8350-5430-X

不二出版

社会事業史研究

第 34 号 - 2007年 3月 -

【巻頭言】

日本社会福祉の戦前と戦後

永岡正己 (ii)

【特集論文】 日本社会福祉の戦前と戦後

近現代日本の社会福祉「対象」の時期区分

—生活変動と貧困を手掛かりに—

中川 清 (1)

現代社会の成立と日本社会福祉の時期区分

池田敬正 (13)

社会福祉方法論の時期区分

—ポストモダンの視点を加味した場合—

木原活信 (33)

<大会に参加して—史資料保存について—>

林 信明 (51)

<吉田久一先生のご逝去を悼む>

(53)

高島進・一番ヶ瀬康子・小倉襄二
右田紀久恵・小川政亮・長谷川匡俊
宇都榮子・岡田英己子・永岡正己

【インタビュー】

先輩からの助言 (第五回) 五味百合子先生

聞き手 林千代・右田紀久恵・今井小の実 (71)

<社会福祉専門教育における歴史教育の課題>

社会事業史学会社会福祉歴史教育に関する小委員会 (103)

『社会事業史研究』第21号～第33号 目次

社会事業史文献賞 第1回～第24回

社会事業史文献賞規定

社会事業史学会規約、社会事業史学会名誉会員選出規則、機関誌編集委員会規程、機関誌投稿規程

機関誌執筆要項、社会事業史学会理事および監事選出規則

社会事業史学会事務局報告

編集後記

社会事業史学会

「社会事業史研究」バックナンバー 一覧 (1973年～2005年)

・全てB5判・並製/以降、年1回の刊行/定期購読受付中!

価格は税別

第1号	2,500円・220頁/1973年10月刊	第21号	3,000円・158頁/1993年9月刊
第2号	2,500円・168頁/1974年10月刊	第22号	3,000円・112頁/1994年10月刊
第3号	2,000円・204頁/1975年10月刊	第23号	3,000円・116頁/1995年10月刊
第4号	2,000円・210頁/1976年10月刊	第24号	3,000円・110頁/1996年12月刊
第5号	2,000円・146頁/1977年10月刊	第25号	3,000円・164頁/1997年10月刊
第6号	2,000円・262頁/1978年10月刊	第26号	3,000円・194頁/1998年10月刊
第7号	2,000円・208頁/1979年10月刊	第27号	3,000円・130頁/1999年10月刊
第8号	2,300円・176頁/1980年10月刊	第28号	3,000円・128頁/2000年10月刊
第9号	2,300円・182頁/1981年10月刊	第29号	3,000円・164頁/2001年10月刊
第10号	3,000円・176頁/1982年10月刊	第30号	3,000円・172頁/2002年10月刊
第11号	3,000円・210頁/1983年9月刊	第31号	3,000円・210頁/2003年12月刊
第12号	3,000円・212頁/1984年10月刊	第32号	3,000円・142頁/2005年2月刊
第13号	3,000円・120頁/1985年9月刊	第33号	3,000円・154頁/2005年10月刊
第14号	3,000円・130頁/1986年11月刊		
第15号	3,000円・116頁/1987年10月刊		
第16号	3,000円・144頁/1988年10月刊		
第17号	3,000円・98頁/1989年11月刊		
第18号	3,000円・126頁/1990年10月刊		
第19号	3,000円・166頁/1991年10月刊		
第20号	3,000円・152頁/1992年10月刊		